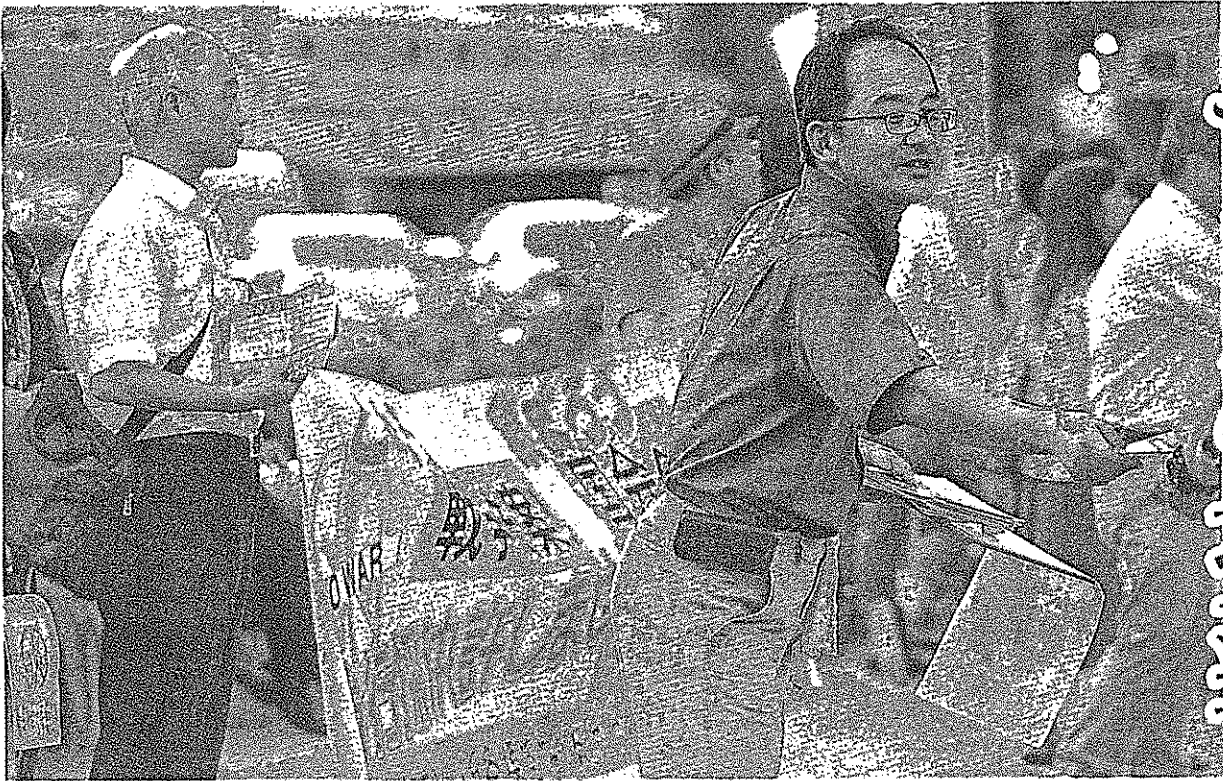


# やまぬ批判



戦争法案許さないと廃案を求めて宣伝する人たち  
11月21日、東京・新宿駅東口

## 「民主主義破壊 許せない」

### 戦争法案阻止へ全国で

総がかり実行委

廃案にするために私もなにかしたい」と署名しました。

「戦争させない・9条を守ろう」総がかり行動実行委員会（以下「総実行委」）は21日、戦争法案を廃案に追い込もうと全国でいっせいの宣伝を行いました。東京では20カ所以上で宣伝。宣伝を手伝いに来た人もいました。同実行委員会に参加する憲法共同センターは都内8カ所で訴えました。日本共産党の国会議員も参加して、廃案への展望を語りました。

新宿駅前では約20人が、ピラを配布しながら、廃案を求める署名を呼びかけました。宣伝が始まると真っ先に駆け寄って署名した埼玉県川越市の鈴木邦夫さん（62）は、「安倍首相のやり方は、民主主義と憲法を破壊するものです」と批判。「日本の若者が海外で人を殺すのも殺されるのも許せません。止めるのは国民の力です」と語りました。

日本とパプアニューギニアのハーフだという大野桂子さん（25）は、3カ月前にイギリスから帰国しました。「帰ってきたら、日本が戦争する国になるかもしれないと驚きました。絶対に戦争はダメ。」

仕事帰りに署名した東京都西東京市の女性（26）は、戦争法案に反対する国会前の抗議行動をテレビで見ると「若い人が中心になっていて、何かが変わりそうな気がしています。応援しています」と話しました。

池袋駅前では約30人が参加し、1時間で約1000枚のピラを配りました。

「絶対反対だ」といって署名した豊島区の自営業、鈴木達也さん（45）は、「安倍首相はアメリカにこびているだけ、日本国民のことは何も考えていない」と強い口調で語りました。

夫婦で署名に応じた同区の藤川俊一さん（68）は、「安倍政権の支持率が下がってきたのは当然。若者をはじめ多くの国民が気付き始めてきた」と話していました。

#### 共産党議員訴え

この日の行動には塩川鉄也、畑野君枝、梅村さえこ、真島省三、清水忠史、宮本徹、池内さおりの各衆院議員、紙智子参院議員が参加しました。

7/22  
あふ